

平成36年3月期までの長期的な展望のなかで、目指す銀行像を「銀行をこえる銀行へ」と定め、その実現に向けて邁進してまいります。



地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む
堅実経営に徹し、たくましく着実な発展をめざす

紀陽銀行の目指す銀行像

銀行をこえる銀行へ

お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることを目指します。

第4次中期経営計画における主要テーマ

地元地域（和歌山・大阪）の特性に応じ、
明確な地域別戦略のもとで成長速度を高める

「取引先数の増加」に徹底的にこだわる営業推進

人材育成・登用の強化等による「成長を支える活力ある組織」づくり

「対取引先」と「対地元地域」という2本柱による「地域活性化への貢献」

主要戦略

1

永続的に地域を支えるための経営効率向上

- ◆「預金4兆円」の早期達成
- ◆店舗チャンネルと営業体制の抜本的見直し
- ◆計画的かつ積極的な新規店舗・チャンネル投資 など

2

規模を利益につなげる営業推進強化

- ◆「リレバン型営業の徹底」による貸出先・貸出・収益の増強
- ◆預かり資産営業体制の強化 など

3

市場における企業評価・ブランド力の向上

- ◆大阪府内でのプロモーション強化（営業戦略）
- ◆CS向上への取り組みの更なる強化 など

4

経営管理態勢の更なる強化

- ◆コンプライアンスの徹底
- ◆大規模災害を想定した対策の強化 など